

## 大分市総合評価落札方式一般競争入札に参加される業者の皆様へ(お願い)

平成28年 9月 8日  
大分市総務部契約監理課

本市では、平成17年4月1日に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、これまで入札方法としてきた「価格競争」を「価格と品質で総合的に優れた調達」へ転換し、公共工事の品質確保の促進を図るため、総合評価落札方式による入札を試行しています。

さらに今年度は、受注実績の少ない企業や地域を支える建設業者の皆様の入札参加意欲を向上していただくため、また、担い手の中長期的な育成・確保を図るため、これまでの総合評価落札方式の「簡易型」「特別簡易型」に加え「技術提案チャレンジ型」を試行することとしたところです。

業者の皆様におかれましては、当該ガイドラインや工事案件毎の入札公告等を十分にご理解いただき、入札に参加していただきますようお願い申し上げます。

つきましては、過去の総合評価落札方式一般競争入札に提出いただきました技術提案等の資料の評価におきまして、資料不足等により加点に至らなかった事例の一部を下記に記載いたしますので、今後の参考にさせていただきますよう併せてお願い申し上げます。

### 記

1. 企業の施工能力「同種工事の施工実績の有無」等について
  - ・ 工事名は「道路改良工事」であるが、技術資料等からは異種工事(「電線共同溝」や「舗装」等)の内容しか確認できないもの。  
《関連評価項目:配置予定技術者の能力》
2. 配置予定技術者の能力「保有資格の継続教育(CPD)の取組み状況」等について
  - ・ 証明書等の証明日が公告にて指定された期間を外れるもの。  
《関連評価項目:地域・社会貢献「災害時の活動体制の有無」ほか》
3. 配置予定技術者の能力「安全衛生教育の取組み状況」等について
  - ・ 各受講修了証の写しが不鮮明で確認が困難なもの。  
《関連評価項目:地域・社会貢献「労働安全衛生の取組状況」ほか》

- ・ 平成18年3月31日以前に「職長教育等」又は「職長・安全衛生責任者教育」を受講している場合において、「職長のためのリスクアセスメント教育(平成18年4月1日以降)」の受講修了証の写しが添付されていないもの。
4. 地域・社会貢献「労働安全衛生の取り組み状況」について
    - ・ 総合工事業者のためのリスクアセスメント研修の受講修了証の写しのみ提出されており、健康保険証の写しが添付されていないもの。
  5. 地域・社会貢献「市民協働のまちづくり活動の実績の有無」について
    - ・ 「公共空間の清掃(草刈を含む。)」の活動実績において、写真の不足等により指定された期間の継続実施(複数名による2ヶ月に1回以上の活動)が確認できないもの。
  6. 自己採点表について
    - ・ 技術資料等の内容と自己採点が異なるもの。(※自己採点は現在試行中であり、今のところ入札結果に反映はされません。)